

■ 会社概要 (2019年11月18日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ  
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)  
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号  
創業 1923年4月4日  
設立 1944年8月25日  
資本金 18,589,682,639円  
従業員数 3,629名 (第82期第2四半期連結ベース)  
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所



本社

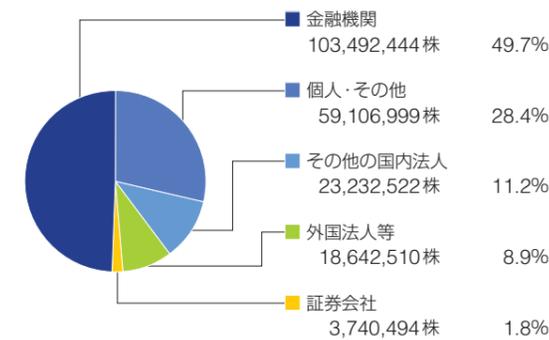
室町本社

■ 株式の状況 (2019年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 750,000,000株  
発行済株式の総数 208,214,969株  
株主数 24,035名

所有者別持株比率



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	9,732	4.87
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.36
大同生命保険株式会社	8,660	4.33
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,785	2.89
有限会社藤精	5,266	2.63
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.46
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	4,924	2.46

※ 当社は、自己株式8,268,605株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月中に開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株  
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載) <http://www.okasan.jp>  
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先)  
(電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く)  
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なご指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

# 株主のみなさまへ

第82期中間のご報告 (2019年4月1日~2019年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。このたびの自然災害で被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念いたします。

さて、第82期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当上半期の証券市場は、米中摩擦の長期化、世界的な景気減速懸念などから不透明感が高まり、難しい市場環境となりました。こうした情勢だからこそ、お客さま一人ひとりに必要とされる質の高いサービス提供が一層求められていると感じております。当社グループは「投資アドバイスのプロフェッショナル」を進化させるべく、グループ内外の連携やアライアンスを強化し、テクノロジーも活用したサービス革新、商品革新に取り組み、グループ各社が有するリソースの共有活用により、付加価値の高いサービス提供を目指しております。

今、短期的な利益を過度に追求する姿勢への批判が高まるなか、持続的成長を目指すESG(環境、社会、ガバナンス)の重要性が高まっています。当社においても長期的な視点での社会との価値共創を意識し、グループ中核企業である岡三証券では、国内初となる食品ロス、廃棄問題に焦点を当てたESG債(社会貢献債)を販売いたしました。また、岡三アセットマネジメントにおいては、ファンド収益の一部を地域社会に寄附する「地域応援ファンド」を運用するなど、独自色のある新商品の開発、提供に取り組んでおります。

創業以来培ってきた「お客さま大事」の志を实践し、グループの総合力を活かして新しい時代に相応しいサービスを提供し、持続的な成長と長期的な企業価値向上を実現する所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



取締役社長 新芝宏之

2019年11月

岡三アセットマネジメントが運用する「地域応援ファンド」一覧

<p>■ 三重県</p> <p>三重県応援ファンド</p>	<p>■ 大阪府・兵庫県</p> <p>大阪・兵庫応援外国債券オープン 愛称 まごころ応援団</p>
<p>■ 新潟県</p> <p>為替ヘッジ付ソブリン/農業関連オープン 愛称 うるおいの大地</p>	<p>■ 愛知県</p> <p>&lt;中京&gt;アジア・オセアニア債券オープン(環境応援寄附) 愛称 エコ応援団</p>
<p>■ 香川県</p> <p>香川県応援ファンド</p>	<p>■ 山口県</p> <p>山口県応援ファンド 愛称 はつらつ長州</p>
<p>■ 福井県</p> <p>福井県応援ファンド</p>	<p>■ 熊本県</p> <p>くまもと未来応援ファンド 愛称 復興投信</p>
<p>■ 岩手県・宮城県・福島県・茨城県</p> <p>水戸証券アジア・オセアニア債券オープン(寄附付)</p>	

# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)		科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (2018年9月30日)	当年度第2四半期 (2019年9月30日)		前年度第2四半期 (2018年9月30日)	当年度第2四半期 (2019年9月30日)
<資産の部>			<負債の部>		
<b>流動資産</b>	<b>368,446</b>	<b>430,362</b>	<b>流動負債</b>	<b>239,974</b>	<b>313,841</b>
現金・預金	69,838	64,217	トレーディング商品	39,948	80,168
預託金	68,279	61,810	約定見返勘定	160	—
トレーディング商品	88,620	135,718	信用取引負債	20,217	22,453
約定見返勘定	—	17,951	有価証券担保借入金	14,475	62,100
信用取引資産	47,229	45,334	預り金	46,858	41,014
有価証券担保貸付金	81,619	90,836	受入保証金	36,880	30,251
その他の流動資産	12,859	14,494	短期借入金	74,375	71,936
<b>固定資産</b>	<b>76,588</b>	<b>71,885</b>	その他の流動負債	7,057	5,916
有形固定資産	19,389	19,110	<b>固定負債</b>	<b>25,144</b>	<b>20,529</b>
無形固定資産	6,352	6,230	<b>特別法上の準備金</b>	<b>1,216</b>	<b>1,207</b>
投資その他の資産	50,846	46,544	<b>負債合計</b>	<b>266,335</b>	<b>335,578</b>
			<純資産の部>		
			<b>株主資本</b>	<b>141,231</b>	<b>139,618</b>
			資本金	18,589	18,589
			資本剰余金	16,466	18,692
			利益剰余金	109,857	105,986
			自己株式	△ 3,682	△ 3,651
			<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>13,391</b>	<b>9,795</b>
			新株予約権	310	359
			非支配株主持分	23,765	16,897
			<b>純資産合計</b>	<b>178,699</b>	<b>166,670</b>
<b>資産合計</b>	<b>445,034</b>	<b>502,248</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>445,034</b>	<b>502,248</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業収益</b>	<b>36,346</b>	<b>31,102</b>
① 受入手数料	22,081	18,863
② トレーディング損益	12,961	10,984
金融収益	877	810
その他の営業収益	426	444
<b>金融費用</b>	<b>557</b>	<b>471</b>
<b>純営業収益</b>	<b>35,789</b>	<b>30,631</b>
③ 販売費・一般管理費	33,203	30,842
<b>営業利益</b>	<b>2,586</b>	<b>△ 211</b>
営業外収益	614	944
営業外費用	133	90
<b>経常利益</b>	<b>3,067</b>	<b>641</b>
特別利益	137	37
特別損失	15	269
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,188</b>	<b>409</b>
法人税、住民税及び事業税	728	475
法人税等調整額	423	△ 178
法人税等合計	1,151	297
<b>四半期純利益</b>	<b>2,037</b>	<b>112</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	493	335
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,544	△ 223

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比14.4%減の311億2百万円となりました。

### ①受入手数料

投資信託関連収益や株式委託手数料の減少により、受入手数料は前年同期比14.6%減の188億63百万円となりました。

### ②トレーディング損益

外国債券トレーディング損益が増加した一方、外国株式等トレーディング損益の減少により、トレーディング損益は前年同期比15.2%減の109億84百万円となりました。

### ③販売費・一般管理費

主に人件費や取引関係費などの減少により、販売費・一般管理費は前年同期比7.1%減の308億42百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比79.1%減の6億41百万円、一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億23百万円の赤字（前年同期は15億44百万円の黒字）となりました。

# OKASAN TOPICS

## 岡 三 ト ピ ッ ク ス

### 岡三証券グループ

#### 「日経IR・個人投資家フェア2019」に出展

岡三証券グループは、本年8月に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された個人投資家向けイベント「日経IR・個人投資家フェア2019」に金融協賛社として出展しました。

5度目の出展となった今回も、多くの方が当社ブースへ立ち寄られ、岡三証券、岡三アセットマネジメントの2社による資産運用セミナーはいずれも大勢の立ち見が出る盛況となりました。また、岡三証券スタッフによる資産運用相談や、当社ブースをバックに日本証券業協会のマスコット「とうしくん」との写真撮影を行うなど、当社グループを幅広い方に知っていただく機会となりました。



資産運用セミナー

とうしくん



### 岡三証券

#### 食品ロス・廃棄問題への取り組みの重要性に焦点を当てたESG債を販売

岡三証券は本年6月、国内初となる、世界銀行が発行する食品ロス・廃棄問題への取り組みの重要性に焦点を当てたESG債（社会貢献債）を販売いたしました。

岡三証券では、2018年より海洋汚染・プラスチックごみ問題や、発展途上国の貧困・教育問題など、世界の社会的課題の解決を支援するESG債を取り扱っております。

今後も、ESG債の取扱いを通じて投資が社会貢献につながるというプラスアルファの価値をお客さまに提供してまいります。



フィリピン農村開発 ©WorldBank

### 岡三オンライン証券

#### 取引所FX・CFDの「サポートコース」新設

岡三オンライン証券は本年10月、取引所FX・CFDにおいて対面でお客さまにサービスを提供する「サポートコース」を新設いたしました。

従来のネット取引に加え、「サポートコース」で経験豊富な専任のアドバイザーによる投資相談サービスをご提供することで、取引所FX・CFDにおいてアドバイスを求めるお客さまのニーズにもお応えできるようになります。

今後も岡三オンライン証券は、お客さまのさまざまなニーズにお応えできるよう、顧客サービスの拡充に努めてまいります。



### 岡三アセットマネジメント・岡三にいがた証券 地域応援ファンドによる寄附を実施

岡三アセットマネジメントは本年5月、同社が運用する地域応援ファンド「香川県応援ファンド」の信託報酬の一部について、香川県の社会福祉向上のため、県内の障害者福祉施設への寄附を実施いたしました。

また、岡三にいがた証券は本年8月、同社が販売する地域応援ファンド「うるおいの大地」から得られる収益の一部について、新潟県の農業の将来を応援するため、県内の農業関連施設への寄附を実施いたしました。

岡三証券グループ各社では、今後も本業を通じた地域の社会福祉や産業・人材育成への貢献に努めてまいります。



香川県応援ファンド



うるおいの大地